

第 279 回環境委員会・第 216 回フタレート部会 議事録

日 時 2025 年 1 月 28 日（火） 14:30～16:00

場 所 東部ビル 1 階会議室ハイブリッド開催

出席者 安藤環境委員長、楯谷副委員長、石神副委員長、加茂川副委員長、宮崎謙一フタレート部会長、古賀アジペート部会長、小野広報部会長、高見技術部会長、長田委員、藤澤委員、盛田会長、根岸副会長、山下理事、柳瀬技術部長、山口（記）

欠席者 小川アドバイザー、宮崎常昭アドバイザー

冒頭、参加者全員が独禁法遵守ガイドラインを確認した。

1 月度トピックス：柳瀬技術部長

・米国：TSCA での DINP、DIDP リスク評価が公表されたが、可塑剤用途でのリスクはないという結果になった。これは玩具の含むものであるが、DINP については CPSA の玩具規制と矛盾している。

・中国：再生プラスチックの推奨国家標準が公布されたがフタル酸エステルの含有量は 0.1%以下となっている。フタル酸エステルの種類は今後確認する。

1. 各部会報告

1-1. フタレート部会

1-1-2. 安全 WG

長田主査より報告。

・DEHP の化審法リスク評価Ⅱのキースタディ候補論文調査を 2023 年 1 月～2024 年 9 月で MCR に依頼した。その結果、D 値が張論文より小さくなる論文が 9 報あった。機械的に導き出した Klimisch コードが 1 となるものもあるが、内容を見ると安全係数が数千～1 万のものもあるのでそれらは信頼性が高いとは言えない。これらの論文については次のステップとしてメディフォード社の専門家に精査を依頼したい。D 値が 0.003mg/kg/d 以下の 6 報を含め 15 報の精査を依頼し今年度中には精査を終えたい。来年度精査結果を見ながら林先生や江馬先生と評価を確定していきたい。

1-1-3. 調査 WG

宮崎部会長より報告。全 49 件。

2501-012：独国、フタル酸エステルのバイオモニタリングの分析。DBP、DEHP は 80 年代と比べ 90%以上減少。DINP、DIDP は増加傾向が減少に転じた。現在は DINCH と DOTP のばく露が増加している。

2501-21：スペイン、DINCH のラットへのばく露試験。高用量で影響が見られないのに低用量で親の肝毒性、子への影響が見られた。

2501-28：スウェーデン、DEHP の雌のマウスに対する投与で ED を調査した。雌については ECHA で報告されている NOAEL より著しく低い結果となった。

1-2. アジペート部会

古賀部会長より報告。

1-2-1. PVC 安全衛生連絡会

・食品接触材料の PL がエクセル表で掲示された。検索が可能となった。

・EU の官報で食品接触材料に BPA の使用禁止が公告された。日本の BPA 安全性研究会も解散となる。
柳瀬技術部長：MCR 社に依頼した DOA の代謝の種差に関する調査について 1/31 に報告会を開催することとなった。

1-3. 広報部会

小野部会長より報告。

1-3-2. 講演と情報交換会

・JAMA の DINP に関する情報共有会については、2 月 27 日安藤環境委員長と柳瀬技術部長が参加する。

1-3-4. 海外との連携戦略

・ビニル・インドア主催の 2025 年クロル・アルカリサミットへ安藤環境委員長、長田主査、柳瀬技術部長が出席する。
費用は 180 万円と見ているが費用化の時期は別途会長決裁となる。

1-4. 技術部会

高見技術部会長より報告。

1-4-6.

・技術部会は 2 月 28 日に開催する。安衛則改訂に伴う SDS 改訂の内容を確認する。

1-4-7. 再査定申請関連

・国交省の担当が本多氏へ変更になり、方法についてやりとりしながら進めている。

1-4-11. GHS 分類

・政府分類と JPIA 分類の比較表を更新し HP に掲載した。再度確認しニュースレターにも掲示する。

2. PVC 関連団体とのコワーク他

柳瀬部長より説明。

3-3-1. TSCA

・DIDP、DINP、DCHP のリスク評価書は 1 月にリリースされた。DEHP、DBP 等は春ごろと公表されているが実質的には年末ではないかと言われている。

4-1-2-2. シックハウス関連

・中間報告書が正式にリリースされた。内容的には大きな変化はない。

4-1-10. 産業技術総合研究所

・廃プラスチック中の化学物質の健康リスク評価でフタル酸エステルも調査対象となった。問題はなかったが、なぜフタル酸エステルが評価対象になったか産総研に確認した。廃 PP から製造したペレットからフタル酸エステルが検出されたとの報告が複数あったからとのことであった。

以 上